

バレーボール大会等の実施に関するガイドライン(感染対策・熱中症防止等)

大阪中学校体育連盟バレーボール専門部

2023年4月1日

本ガイドラインは、大阪中学校体育連盟「新型コロナウイルス感染症に係る本連盟主催大会の対応について(通知)」及び、日本スポーツ協会、日本バレーボール協会から出されたガイドラインを基に大阪中学校体育連盟バレーボール専門部として、感染のリスクを排除し、過去に戻るのではなく「新しい生活様式」にあわせた大会が安心・安全に開催される環境を提供するために必要な対応を踏まえた上で作成されたものである。

(1) 入館者の確認

- ①IDカードや名札などを利用し、所属チームがわかるようにする。
 - ・基本となる様式は配布する。(印刷作業は各チームで行う)
- ②会場校は使用許可願(別紙)を提出する。



(2) 感染の拡大防止(消毒、換気、3密を防ぐ、)

- ①マスクの着用は「個人の主体的な選択を尊重し、原則、着用は個人の判断に委ねる」
- ②主審・副審は、ホイッスルの使用を基本とするが、当面は電子ホイッスルの使用も認める。
- ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒実施の指導
- ④体育館の入り口には消毒液を常備する。
- ⑤できるだけ換気を行い、空気の入れ換えを行う。
- ⑥公共の体育館を使用する場合は、一般利用者との接触があるため、入場の際には消毒・検温器を設置することが望ましい。
- ⑦更衣室、控え室は広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。

(3) 競技(選手の体調を第一に考えてください。)

- ① 1日の1チームあたりの最大試合数は2試合を基本とする。
 - ・大会は半日を基本とし、午前・午後の2部制は可とする。
 - ・4チームのリーグ戦(1チーム3試合)を1日で行う場合は、試合間を十分とり、選手の健康面を最大限に考慮した設定を行う。
 - ・空調設備のある体育館(最終日など)の利用。
- ②水分補給
 - ・選手の健康を考え、給水のためのタイムアウトを設ける。(夏場)
 - ・うちわの使用を認める(日本中体連バレー部「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱い)
- ③全体を集めての開会式、閉会式、開始式(コール)
- ④あいさつ・コイントス・試合前後の整列
 - ※③・④については、今後の状況をみて、適宜対応する。